



6 5 新潟県立出雲崎高等学校

- **所在地** 三島郡出雲崎町大字大門7 1 番地
(最寄りの交通機関)
JR 越後線出雲崎駅下車
越後交通バス 出雲崎駅前下車 徒歩 5 分
- **電話** 0 2 5 8 - 7 8 - 3 1 2 5 (代)
- **FAX** 0 2 5 8 - 7 8 - 2 4 0 1
- **校長名** 増川 義行
- **課程** 単位制による定時制課程 (午前部)
- **創立** 昭和 2 3 年 6 月 1 日
- **生徒数** 1 1 6 名
(令和 2 年 5 月 1 日現在)



学年 学科	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
普通科	20	14	28	15	23	14	2	0	73	43

- **入学者選抜** (令和 2 年度) ※令和 3 年度入学者選抜については 1 0 月下旬頃決定します。

学科	募集定員	一般選抜
普通	3 5 名	調査書、学力検査 (国語、数学、英語)、学校独自検査 (面接)

本校の歩みと特色

本校は、昭和 23 年 6 月に全国でも数少ない村立の高等学校として創立され、昭和 27 年から県立西越高等学校、平成 14 年に単位制の定時制課程に改組して出雲崎高等学校となりました。創立以来の「心耕」(こころを耕す)の理念を引き継ぐ、72 年の歴史と伝統を有する学校です。

J R 出雲崎駅から徒歩で約 5 分の小高い丘に位置し、春から夏にかけてウグイスがさえずる、自然豊かな環境の中でゆったりと学ぶことができ、地元出雲崎をはじめ、柏崎、刈羽、長岡、三条、燕、三島、寺泊、吉田、分水、弥彦など広い地域から生徒が通学しています。

現在も脈打つ - 創立の心 “心耕” -

学力の向上、情操および奉仕的精神の高揚、体力の増進を努力目標として、創立以来の「心耕」の精神 (素直で心豊かな人間をめざす) を伝統としてかけ、社会が求めている人材の育成に努めています。

● 教育目標

- 自主・自立の精神に富む生徒の育成
- 情操豊かな生徒の育成
- 希望に輝く生徒の育成

● 指導方針

- わかる授業・工夫された授業
- ゆきとどいた親切な HR 指導
- きめ細かい、ていねいな進路指導

● 目指す学校像のコンセプト

- 柔軟な学びを可能とする学校
- 学習のユニバーサルデザイン化を推し進め、全ての生徒の学びと自立を支援する学校
- 生徒が安心して学び、保護者が安心して子どもを託せる学校
- 地域の一員として役割を果たす学校

●オンリーワンスクールの取り組み

- **単位制高校の特性を生かしたきめ細かな指導**
 - ・ 習熟度別授業、少人数授業、ティームティーチング、多様な学校設定科目
 - ・ 1クラス2人担任制
- **学習のユニバーサルデザイン化の推進**
 - ・ 全ての生徒の学びやすさ、生活しやすさに配慮した授業づくりと学校づくり

● 学校生活

◎ 単位制による定時制

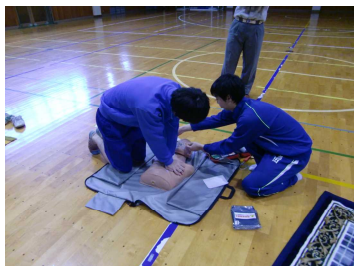
学年による区分がなく、3年以上在籍し、必修科目の履修と決められた単位数（74単位以上）の修得により卒業が認められます。自分の興味・関心に合った科目を選択し、自分で時間割を作成します。能力や個性を伸ばすことができます。

8：40始業、1～6限授業、15：45終業の、全日制と同じ時程による学習で、3年間で卒業することができます。

本校独自の学校設定科目



地域の自然環境



救急法



茶道Ⅰ

◎ きめ細かな進路指導

学校設定科目「ガイダンスⅠ」「ガイダンスⅡ」「ガイダンスⅢ」により、3年間を見通した計画的な進路学習を行い、自分の在り方生き方を考え、自立と社会参加に必要な学びを展開しています。自己理解を深めるための適性検査や作業学習、マナー講習、職場・上級学校見学、外部講師による講演会の実施により、段階的・継続的な進路指導を行っています。

進路状況

令和2年3月卒業生（卒業生32人 男18 女14）の進路状況は次のとおりです。

	学校種別	男	女	計
進学	4年制大学	1	0	1
	短期大学	1	0	1
	専門・各種学校	3	4	7
	合計	5	4	9

	県内外	男	女	計
就職	県内	10	7	17
	県外	1	0	1
	合計	11	7	18
その他		2	3	5

<主な進学先>

太成学院大学、新潟工業短期大学、新潟県農業大学校(2)
 国際ビューティーモード専門学校、北陸食育フードカレッジ、東京ビューティーアート専門学校
 三条テクノスクール、魚沼テクノスクール

<主な就職先>

パール金属(株)、新潟運輸(株)柏崎支店、(株)ケー・エー・プラスチック、(株)ホテルニューグリーン
柏崎運送(株)、プラメックス(株)、(株)片山外装、(株)大竹製作所、旬食・ゆ処・宿喜芳
(株)エス・ティ・フーズ、(株)アサヒプレート、(株)インテリアメーク、社会福祉法人中越老人福祉協会
日本ドレッサー(株)刈羽事業所、和田ステンレス工業(株)、ワタキューセイモア(株)新潟営業所
(株)末広製菓

<卒業生からのメッセージ>

* 新潟県農業大学校に進学したAさん *

私は、農業大学校を推薦入試で受験しました。試験は800字程度の作文に数的能力、適性検査、面接がありました。面接は15分の個人面接で、面接官が三人いました。途中でメモを取るように指示され、メモをもとに話すという試験もありました。受験に向けて面接練習や小論文対策を先生方にいただきました。

私はもともと農業に興味があったので、オープンキャンパスに幾度も足を運びました。『緑の学園』という泊二日の体験では、他学校との交流や野菜の収穫体験、先輩からの話を聞くなど興味深いものでした。いざ受験本番となると、面接でうまく話せるか心配でしたが、今自分ができる精一杯のことはできたと思います。皆さんも進路のことはとても不安に感じていると思います。自分が得意だと思ふことや、「これをやってみたい」ということがあったら、その分野の学校について調べたり、オープンキャンパスに進んで参加したりするといいと思います。

* 日本ドレッサー(株)刈羽事業所に採用されたBさん *

私は、小学生の頃から物を作ることが大好きで、図工や技術など製作に関する科目を熱心に学んでいました。出雲崎高校に入学したのも、個人の自由を尊重してくれること、そして進路活動にとっても力を入れてくれるということが大きな理由でした。

三年次になり、いよいよ進路活動が始まり、求人票が公開されました。大変だったことと言えば、やはり一社、二社に絞ることです。とても悩みましたが、家族と何度も相談し、自分の夢である物作りの仕事「製造業」に就こうと決意しました。最初は給料が高い企業しか目に入っておらず、両親から「給料が高いとか、休みが多いとかじゃない。自分が得意なこととか好きなことのできる仕事を探しなさい」と言われ、応募先を決定しました。実際に企業を見学して最終的に決断し、その後は面接練習や履歴書作成など大変なことが数多くありました。そんな中、先生方やジョブコーディネーターの先生のサポートもあり、僕は無事に内定をもらうことができました。

勉強を続けなければならなかったり、資格を取得しなければならなかったりなど、困難もあるかもしれませんが、やりがいを持って「好きなことで生きていく」という気持ちを忘れずに、仕事を選んで欲しいと思います。これから先の未来を担う皆さん、頑張ってください。応援しています。

◎ 一人ひとりを大切にした教育

教育相談室にはスクールカウンセラーが定期的に在室しています。保健室には二人の養護の先生が在室し、生徒の多様な悩みに応えています。

基礎学力の定着・向上のため、「わかる授業」で丁寧に指導します。



少人数授業



習熟度別授業

部活動の状況

運動部

バレーボール部、卓球部、
剣道部、陸上競技部、
バスケットボール部

高体連定通大会などに積極的に
参加し、部活動の活性化をはかって
おり、県大会での上位入賞、北信越
大会、全国大会出場の実績を果たし
ています。



バスケットボール部

文化部

美術部、器楽部、ボラン
ティア部



器楽部

高等学校文化祭等への出展に向
けた作品制作（美術部）、学校祭等
での演奏会（器楽部）、学校祭等
での共同募金活動（ボランティア
部）、などにも意欲的に取り組ん
でいます。

学校行事



入学式（4月）



対面式（4月）



全校遠足（5月）



校外研修（5月／1年次）



職場・上級学校見学（5月・10月）



スポーツ大会（6月）



修学旅行（10月／2年次）



校外研修(10月／3年次)



スキー教室
（1月／1年次）



校外研修(2月／2年次)



卒業式（3月）



飛香里祭（11月）

● 学校納付金

(1) 入学料 2, 1 0 0 円 (入学時)

(2) 授業料 4, 3 5 0 円 (月額 1 単位あたり1 4 5 円×3 0 単位)

※ 所得制限により就学支援金が支給されない世帯(保護者(親権者)の県民税所得割額と市町村民税所得割額の合算額が507,000円以上の世帯)については、上記の授業料を納めていただきます。

なお、就学支援金支給の手続き等については、入学の際にお知らせしています。

(3) 諸経費(令和元年度の例)

・ 生徒会費 6, 0 0 0 円 (年額)

・ P T A 会費 7, 2 5 0 円 (年額)

・ 修学旅行積立金 1 2, 0 0 0 円 (月額・修学旅行前まで)

・ 年次諸費 3 0, 0 0 0 円 (年額) ※1 年次の例

※この他に、入学時に体育着等(1 3, 8 5 0 円)、シューズ(3, 8 0 0 円)、教科書・副教材(必修科目教材1 8, 0 1 3 円+選択科目教材※1 年次生の例)などが必要となります。

※入学料等の減免制度については、事務室にお問い合わせください。